

|   |  |
|---|--|
| <div data-bbox="146 315 268 353" data-label="Section-Header"> <p>教育目標</p> </div> <div data-bbox="379 383 1204 430" data-label="Section-Header"> <p>未来を創造したくましく生き抜く力の育成</p> </div> |  |
| <div data-bbox="146 519 378 555" data-label="Section-Header"> <p>年度末の最終評価</p> </div>  |  |
| <div data-bbox="146 566 183 745" data-label="Text"> <p>自己評価</p> </div>  | <div data-bbox="204 566 774 604" data-label="Section-Header"> <p>教育目標の達成状況，次年度に向けた見直し</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向かって，常に創造的・挑戦的に学べるよう，何事に対しても課題意識を持って取り組めるようになった。</li> <li>・なかまとともにつながりを喜びとできるよう，互いの学びを支えあう取り組みを実践できた。</li> <li>・自らを律し相手を尊重できよう，常に適切な行動をとれるよう取り組めた。</li> <li>・目指す子ども像の実現にむけ，教職員は自らの立場における明確な展望を持ち，具体的な目標を掲げ取り組めた。</li> <li>・学校・家庭・地域との連携を図ることができ，学校の教育活動において保護者・地域から様々な協力を得ることができた。</li> <li>・学びと未来の繋がりを大切にするための取組として，進路保障に向けての様々な取組は一定の効果を上げてはいるが，自分の生き方を深めるキャリア教育の視点では課題が残っている。</li> <li>・学校の施設・設備において計画的に環境整備を進めることができた。</li> <li>・教職員が個々の資質・能力を最大限発揮できるための協働を，来年度以降も推し進めていく。</li> </ul> |
| <div data-bbox="146 1238 183 1563" data-label="Text"> <p>学校関係者評価</p> </div>   | <div data-bbox="204 1238 606 1276" data-label="Section-Header"> <p>学校関係者による意見・支援策</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高雄校の教育活動を通して，生徒は「夢」を持ち，常に創造的・挑戦的に学べるようすることの大切さを生徒は理解し，行動できるようになってきている。</li> <li>・なかまとともにつながりを喜び，互いが支えあう大切さを生徒は理解し，行動できるようになってきている。</li> <li>・教職員全員は一人一人の生徒を大切に，個に応じた成長を促す教育活動に努めている。</li> <li>・地域で生徒の活躍の場を増やすことによって，大きな自信につながっている。</li> <li>・進路保障に向けての様々な取組は効果を上げているが，自分の生き方を深めるキャリア教育のためには，地域の大人たちの協力も必要。</li> <li>・学校・家庭・地域との連携を図ることができている。</li> <li>・学校の施設・設備において計画的に環境整備を進めることができてきている。</li> </ul>  |

学校関係者評価の評価日・評価者

|      | 評価日  | 評価者     |
|------|------|---------|
| 中間評価 | 10/8 | 学校運営協議会 |
| 最終評価 | 3/3  | 学校運営協議会 |

## (1)「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

### 重点目標

- ・何事に対しても課題意識を持たせ、主体的に学ぶ意欲を喚起し、自学自習できる生徒の育成と学力向上を目指す。
- ・全教員が、生徒に「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感させる授業展開ができるように、主体的・対話的な学びを意識した授業改善に取り組む。

### 具体的な取組

- ・授業のはじめには「本時の目標」・「見通し」を明確にし、展開には「生徒が考える（活動する）場面」をつくり、生徒が協同的に「まとめ」「振り返り」を行うことを徹底する。
- ・生徒が自ら課題に気づき、課題解決に取り組む過程で「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業実践に向けた教材研究と授業改善を行う。
- ・「学習確認プログラム」の事前・事後指導を丁寧に行うとともに、「問題データベース」を活用した小学校学習内容の振り返りと中学校学習内容の定着を図る。
- ・学習支援プログラム等可視化された学力実態を活用して、生徒の未定着内容・スキルを把握し、個に応じた学習内容の充実を図る。
- ・朝読書の充実を図り、主体的・対話的な学習の姿勢を養う。
- ・授業と連動させた家庭学習課題「積み重ね学習」の内容を形成的に設定し、その充実を図るとともに、この学習を通して自学自習の習慣づけを進める。
- ・土曜学習・夏休みの自主学習教室での「問題データベース」の活用をすすめるとともに、学習相談等の充実を図る。
- ・学校司書と協力して、図書館を活用した読書活動や学習活動を充実する。
- ・総合育成支援員と連携しながら、LD 等支援の必要な生徒に対しては個々の課題を明確にとらえ、生活・行動面だけでなく学力面への支援も充実させる。

### (取組結果を検証する) 各種指標

- ・アンケート ①「子どもは、授業がわかりやすいと言っているか」  
②「子どもは、家庭で自主的に学習をするようになってきた」
- ・確認プログラム・全国学力学習状況調査の結果の分析

## 中間評価

### 各種指標結果

#### 各種指標結果（1回目）

- ・アンケート ① 実現度 保護者 4.9 生徒 5.3 教師 4.9  
② 実現度 保護者 4.1 生徒 4.6 教師 4.9
- ・ジョイントプログラム 1年生は全市平均に比べると学習の定着ができていない部分がある。
- ・確認プログラム 2年生は全市平均に比べると学習の定着ができていない部分があるが、社会は昨年度と比べ大きな伸びが見られた。3年生は昨年度同様どの教科も全市平均を大きく超える。
- ・全国学力学習状況調査は、国語、数学、英語ともに全国平均を上回ったが、英語の「話すこと」の領域には課題が残った。

自己

### 分析（成果と課題）

アンケート結果①②より、どちらも実現度は高いとはいいいにくい。②に関しては、ここ数年実し

|         |   |
|---------|---|
| 評価      | <p>ている「積み重ね学習」により、毎日の家庭学習課題を用意はできているが、生徒自身の自主的な学習にまだまだ課題がある。</p> <p>1, 2年生のジョイントプログラム, 確認プログラムの結果から、授業には丁寧な手立てが必要。「本時の目標」・「見通し」を明確にした授業を徹底する。</p> <p>朝読書を年間の重点課題にあげて取り組んでいる。読書習慣の定着を継続して目指す。</p>  |
|         | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>「積み重ね学習」をやり遂げるだけではなく、生徒自身が授業の予習や復習に取り組み、自主学習の幅を広げる取組が必要。また自主学習習慣への後押しとして、テスト前の自主学習会等を通しての積極的なアプローチも必要。</p> <p>「わかりやすい授業」を目指し、授業のはじめには「目標」を明示の徹底と、授業中には「生徒が考える（活動する）場面」をつくりことをさらに多く取り入れる。</p> <p>1年生を中心に、学習の定着しにくい生徒には、授業中の個別の支援を心掛ける。</p> |
|         | <p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート ①「子どもは、授業がわかりやすいと言っているか」</li> <li>②「子どもは、家庭で自主的に学習をするようになってきた」</li> <li>確認プログラムの結果の分析</li> </ul>   |
| 学校関係者評価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートホンの使いすぎは、家庭学習の大きな弊害となっている。</li> <li>・授業の基本は、読解力。家庭の教育力無しでは読書量は増えない。朝読書は大事。</li> <li>・地域力が高くなれば、健全な子が育つ。子供たちにも地域への関心を高めてほしい。</li> </ul>   |

最終評価

|         |   |
|---------|---|
|         | <p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート ① 実現度 保護者 4.9 生徒 5.4 教師 5.7</li> <li>② 実現度 保護者 4.0 生徒 4.5 教師 6.0</li> <li>・確認プログラム</li> </ul>                        |
| 自己評価    | <p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>アンケート結果より、「わかりやすい授業」の実践に向けて、教師自身の授業改善への意識の変化が大きくみられる。このことが生徒への好影響となるのではないかと。家庭学習の内容の見直しと、確認プログラムの得点力のアップに向けて、朝読書を朝テストへ変更。2年生の確認プログラムの得点力向上につながった。</p> |
|         | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>確認プログラムベーシック2, プレ3に向けて、直前の1週間、「積み重ね学習」を確認プログラムの対策問題に設定し、次の日の朝にテストを行う取り組みを実施した。家庭学習の継続だけではなく、内容の充実に向けた取り組みである。来年度も継続したい。</p>   |
| 学校関係者評価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数ではあるが、話し合い活動のしやすい雰囲気をつくるのが学力の向上につながっていくのではないかと。</li> </ul>  |

## (2)「豊かな心」の育成に向けて

### 重点目標

- ・互いを認め合い、励ましあう人間関係づくりの中で自他を大切にできる態度の育成を進める。
- ・ネットによる誹謗中傷やいじめ等は人権侵害であることや人間の尊厳の大切さの指導を徹底する。
- ・教育活動全体を通じて道徳的価値の理解を深める道徳教育を推進し、道徳性を育てる。

### 具体的な取組

- ・縦割りのフレンドリー班の活動を通じたつながりの形成を行うとともに、互いの学びを支え合うなかで自己有用感を高め自己肯定感の高揚を図る。
- ・一人一人を大切にするために、学年を越えた綿密な情報交換を行い、見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導を行う。
- ・道徳教育については、教科・領域を超えた連携を図り、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れ、道徳的価値の理解を深める指導の充実を図る。そのうえで実践の日常的な検証を行う。
- ・人権教育主任を中心として、障害者差別・外国人差別・同和問題・男女平等・性教育などの人権課題解決への意識を高め、社会に適応した人権教育の充実を図る。また、国際理解の時間を設定し多文化理解を深める。
- ・和太鼓（もみじ太鼓）や茶道などの伝統文化を大切に、地域の伝統と文化を継承し地域に貢献（高雄活性化プロジェクト）できることを考え、実行できる取組の充実を図る。

### (取組結果を検証する) 各種指標

- ・アンケート①「子どもたちは楽しく学校へ通っているか」  
②「子どもは、人を思いやり、相手の立場を考えて行動しようとしているか」  
③「学校は親身になって子どもの相談に応じているか」
- ・クラスマネージメントシートの分析

## 中間評価

### 各種指標結果

- ・アンケート ① 実現度 保護者 5.4 生徒 5.3 教師 5.5  
② 実現度 保護者 5.3 生徒 5.2 教師 5.1  
③ 実現度 保護者 4.3 生徒 5.3 教師 5.1
- ・クラスマネージメントシートはお概ね良好な結果。

### 自己評価

#### 分析(成果と課題)

昨年度と比べると、「人を思いやり、相手の立場を考えて行動をする」を意識する生徒は増えてきている傾向である。また、多くの生徒は悩み事の相談を教師にできている。総合的な学習の時間や行事でのフレンドリー活動を通して、信頼関係の構築や、社会性の獲得など、大きく成長が見られた。また、学校祭の取組では、和太鼓の演奏発表等で地域への発信もできた。道徳の授業は、推進教諭を中心に、計画的に進められている。

#### 分析を踏まえた取組の改善

困ったことや悩みを先生や友人に相談ができない生徒もいることをしっかりと認識する。さらに生徒の変化や様子に目を配る。また、教育相談でゆっくり話をする機会を作って相談のきっかけにしたり、時にはスクールカウンセラーへの相談を促したりすることも必要。

#### (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

|         |   |
|---------|---|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート①「子どもたちは楽しく学校へ通っているか」</li> <li>②「子どもは、人を思いやり、相手の立場を考えて行動しようとしているか」</li> <li>③「学校は親身になって子どもの相談に応じているか」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスマネージメントシートの分析</li> </ul> |
| 学校関係者評価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもいやりの精神が育まれているのは、大変良いことだ。</li> <li>・和太鼓や茶道といった伝統文化を通じた地域貢献も評価できる。</li> <li>・統合を目前に、地域行事へ参加する生徒の減少が心配。</li> </ul>  |

#### 最終評価

|         |  |
|---------|--|
|         | <p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート ① 実現度 保護者 5.0 生徒 5.4 教師 5.4</li> <li>② 実現度 保護者 5.2 生徒 5.4 教師 5.0</li> <li>② 実現度 保護者 4.1 生徒 5.0 教師 5.8</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスマネージメントシート 概ね良好。</li> </ul> |
| 自己評価    | <p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>生徒は学校生活を楽しく過ごしている。また、概ね人を思いやり、相手の立場を考えて行動できている。また、生徒は悩み事の相談を教師にできている。今年度も、総合的な学習の時間や行事でのフレンドリー活動を通して、信頼関係の構築や、社会性の獲得など、大きく成長が見られた。</p>   |
|         | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>アンケート結果より、概ね生徒は先生に悩み事を相談しやすく思っている。しかし、そのことに対しての保護者の評価はそれほど高くはない。また、本当に目を向けなくてはいけないのは、相談をしにくい生徒達。このことを真摯に受け止め、さらに生徒の心の変化へ目を向ける必要がある。複数の教師の対応や、スクールカウンセラーの活用などさらなる工夫が必要である。</p>  |
| 学校関係者評価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で生徒と先生の関わりは強いので、指標結果③はさらに高い数値が出てもいいのに不思議だ。高雄の子は先生に対するニーズが高いのではないか。</li> </ul>  |

### (3)「健やかな体」の育成に向けて

|  |
|--|
| <p><b>重点目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命を守り、健やかな心身を育てるために、生徒が自らの健康状態と生活実態を把握し、<u>自分の健康を適切に管理していく意識や態度</u>を育てる。</li> <li>・性に関する課題が多様化していることから、<u>教職員に適切な研修を実施し、性に関する指導の充実を図る。</u></li> <li>・学校や地域において、<u>危険を予測し適切に行動できるように</u>、「安全教育」（生活安全・交通安全・災害安全）を充実させる。</li> </ul> |
| <p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の定着を図り、家庭・保護者と連携し、規則正しい生活習慣の確</li> </ul>  |

|  |
|--|
| <p>立を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の継続的な健康観察の実施等によって、自らの健康に興味・関心を持たせるとともに、自己管理能力の意識も高める。</li> <li>・「保健委員会だより」「保健だより」等の情報を活用した保健教育を推進する。</li> <li>・性について正しく理解し、性に関して適切な行動選択ができるよう、発達段階を踏まえた性教育学活を実施し指導の充実を図る。</li> <li>・通学路である国道 162 号線の道路拡幅工事が継続されているため、安心安全の保障に向けて工事箇所区間前後の登校指導を徹底する。</li> <li>・アレルギー対応、エピペン使用、救急救命の研修を行い、生徒の命に関わるスキルと意識を培う。</li> <li>・防災・不審者対応等の避難訓練を実施し、生徒や教職員が安全に対する意識を持ち続けるようにする。また、小中合同の防災訓練を実施し、災害時に中学生ができることを考える機会を作る。</li> </ul> |
| <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート①「子どもは朝食をとって登校しているか。」</li> <li>・防災訓練等，安全教育の実施</li> <li>・健康観察，健康診断の点検・検証</li> </ul>  |

中間評価

|   |  |
|---|--|
| <p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート ① 実現度 保護者 6. 3 生徒 6. 2</li> <li>・「校区内で発生した強盗事件で刃物を持った犯人が逃走中」を想定した防犯訓練の実施。</li> <li>・健康観察，健康診断の結果からは，特に大きな問題は見られなかった。</li> </ul> |  |
| 自己評価  | <p>毎日の朝食もしっかり取れていて、お概ね健康的な生活が送られている。防犯訓練を通して適切な安全教育が行えた。保健だよりや食育だよりが定期的に発行でき、タイムリーな話題も提供できた</p>  |
|   | <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>保健だよりや食育だよりの定期的な発行は今後も継続していく。土砂災害を想定した防災訓練を検討。</p>  |
|   | <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート①「子どもは朝食をとって登校しているか。」</li> <li>・防災訓練等，安全教育の実施</li> <li>・健康観察，健康診断の点検・検証</li> </ul> |
| 学校関係者評価   | <p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食をしっかりとることの大切さの指摘。</li> <li>・昨年度の台風の被災より，防災教育の大切さの再認識。</li> </ul>                                 |

最終評価

|   |
|---|
| <p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート ① 実現度 保護者 6. 1 生徒 6. 2</li> <li>・校内での火災発生と，大きな地震を想定した 2 度の防災訓練の実施。薬物乱用防止教室の実施。</li> </ul> |
|---|

|         |  |
|---------|--|
| 自己評価    | <b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b><br>毎日の朝食もしっかり取れていて、お概ね健康的な生活が送られている。防災訓練や薬物乱用防止教など効果的に行えた。   |
|         | <b>分析を踏まえた取組の改善</b><br>前期に続き、保健だよりや食育だよりが定期的に発行でき、タイムリーな話題も提供できた。今後も継続していく。防犯訓練、防災訓練を来年度も実施の方向。  |
| 学校関係者評価 | <b>学校関係者による意見・支援策</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理、規則正しい生活習慣の確立については、家庭・保護者と連携を図りながらしっかり実行できている。</li> <li>・きめ細かい保健教育の成果が上がってきており、生徒の健康に関する自己管理能力も向上してきている。</li> <li>・学校施設の立地条件から考え、今後も防災教育に力を入れていく必要がある。</li> </ul> |

#### （４）学校独自の取組

|  |
|--|
| <b>重点目標</b><br>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた高雄の地域を愛する態度を養うことにより、自他を尊重し、地域や社会の平和と発展に寄与する態度を養う。   |
| <b>具体的な取組</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・和太鼓や茶道などの伝統文化を大切にし、地域の伝統と文化を継承できる生徒を育成する。</li> <li>・平岡八幡宮や神護寺等、地域の国宝や文化財にふれ、宮司や貫主の講義などを通じて地域の歴史と文化に対する理解を深める。</li> <li>・総合学習では、全校生徒による和太鼓の演奏に取り組み、和太鼓の良さを地域へ発信する。</li> <li>・全校生徒で百人一首に取り組み、古典に対しての理解を深めるとともに、本格的な競技法を学ぶ。</li> <li>・高雄校の伝統的な行事「歓迎遠足」や「クリスマス会」への参加から、地域への愛情を深める。</li> </ul> |
| <b>（取組結果を検証する）各種指標</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の感想やアンケート</li> <li>・地域行事への参加状況</li> </ul>  |

#### 中間評価

|   |   |
|---|---|
| <b>各種指標結果</b><br>総合学習での、全校生徒による和太鼓の演奏に取り組みは、生徒に大きな成就感を与えると共に、仲間作りやリーダーシップの育成の面でも大きな効果があった。地域行事では、茶道部が社会福祉協議会のふれあい祭りへ参加した。和太鼓部は、高雄保勝会主催のもみじちゃん祭り、昨年度台風被害で中止となった平岡八幡の例祭に参加した。 |   |
| 自己評価  | <b>分析（成果と課題）</b><br>学校祭での保護者や地域に向けての「和太鼓演奏」「京炎そでふれ」の発表を通し、生徒たちは大きな自信を持ち、地域参加への意識もさらに高くなった。茶道部や和太鼓部も活動の場が与えられ、大きな自信につながった。 |
|   | <b>分析を踏まえた取組の改善</b><br>今後も本校の特色として、生徒たちにも胸をはった取り組みとなるようしていきたい。  |
|   | <b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b>   |

|         |  |
|---------|--|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の感想やアンケート</li> <li>・地域行事への参加状況</li> </ul>  |
| 学校関係者評価 | <p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発表は毎年楽しみにしている。地域も活性する。</li> <li>・統合を目前に地域行事に参加する子供が減少するのは心配。</li> </ul> |

最終評価

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <p>クリスマス会の取り組みは、生徒に大きな成就感を与えると共に、仲間作りやリーダーシップの育成の面でも大きな効果があった。地域行事では、和太鼓部が「もみじちゃん祭り」「高雄マウンテンマラソン」に参加。</p>                       |
| 自己評価    | <p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>クリスマス会の取組を通して、生徒たちには自分達だけで企画・運営を行うことにより、大きな自信がついた。また、地域の子供達に優しく接し、地元の子供達の連帯感が深められた。和太鼓部も活動の場が与えられ、大きな自信につながった。</p> |
|         | <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>今後も本校の特色として、生徒たちにも胸をはった取り組みとなるようにしていきたい。</p>   |
| 学校関係者評価 | <p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合後、和太鼓部を含め、地域行事へ中学生がどの程度参加してくれるのか。どのように地域は参加促進するのか。</li> </ul>                         |

(5) 業務改善・教職員の働き方改革について

|  |   |
|--|---|
|  | <p>重点目標</p> <p>働き方改革を推進し、教職員の心身の健康保持・増進を進める。</p>  |
|  | <p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校・幼稚園の働き方推進宣言」の周知の徹底。特に電話応答終了時刻と職員の退校時刻の周知。</li> <li>・出退勤管理システムを適切に運用し、また、学校閉鎖日の拡大等の取組を実施し、教職員の勤務時間を意識した働き方を推進する。</li> <li>・ガイドラインに基づき、部活動の適切な実施を行う。</li> <li>・教職員の定期健康診断の要精検者への受診指導の徹底を図るとともに、ストレスチェック等を利用し、個人のメンタルヘルスの不調のリスクの低減を目指す。</li> </ul> |
|  | <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の自己評価と管理職によるヒヤリング。</li> <li>・出退勤管理システム等による分析。</li> </ul>   |

中間評価

|  |               |
|--|---------------|
|  | <p>各種指標結果</p> |
|--|---------------|

|   |  |
|---|--|
| <p>教職員は概ね心身の健康保持はできている。</p> <p>出退勤管理システムの分析シートからも、概ね健全なワークライフバランスは保たれている。</p> |  |
| 自己評価  | <p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>ワークライフバランスを意識した勤務は概ね行われているが、電話応答終了時刻と職員の退校時刻の厳守は徹底できていない。部活指導は、ガイドラインに基づき適切に行われている。</p>                         |
|   | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>概ね良好。今後も継続したい。</p>   |
|   | <p><b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の自己評価と管理職によるヒヤリング。</li> <li>・出退勤管理システム等による分析。</li> </ul> |
| 学校関係者評価   | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>生徒の健全な育成に向けて、何よりも教職員の健康保持が大切である。</p>   |

最終評価

|  |   |
|--|---|
| <p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>教職員は概ね心身の健康保持はできている。</p> <p>出退勤管理システムの分析シートからも、概ね健全なワークライフバランスは保たれている。</p> |   |
| 自己評価   | <p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>年間を通して、ワークライフバランスを意識した勤務は概ね行われた。電話応答終了時刻と職員の退校時刻の厳守は徹底でききれていない。部活指導は、ガイドラインに基づき適切に行われている。</p> |
|  | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>概ね良好。退勤時間や健康面での心配は無いが、仕事の効率化という視点では意識の徹底には至っていない</p>  |
| 学校関係者評価  | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>さらに働き方改革を推進し、教職員の心身の健康保持・増進を進めてほしい。</p>   |